

福島第一原子力発電所1号機 750トンクローラクレーン1号機の不具合について

東京電力ホールディングス株式会社

2016.04.28

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

1. 発生内容および時系列

■ 発生内容

1号機原子炉建屋カバー解体工事において、原子炉建屋北西ヤードで揚重作業を終えた750トンクローラクレーン1号機（以下750tC/C）が停止位置についたところ、ブームの旋回体から作動油（約150L）が漏えいした。

■ 時系列

平成28年4月18日（月）

- 10:15 揚重作業を終え、750tC/Cのアンカーを取り、停止
- 10:20 旋回体下部からの油漏れを発見、油回収作業開始
- 10:40 双葉消防本部出動
- 11:59 漏えい停止、残油の抜き取りを継続実施
- 12:13 双葉消防本部より危険物の漏洩でないとの判断
- 13:45 油の回収作業完了



作動油漏えい状況

平成28年4月20日（水）

損傷した作動油ホースの取り替えおよび、クレーンの動作確認を実施

✓ 本対応は、原因調査、調達、修理を含め2日間で完了した

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

2.原因と対策

■ 発生要因

[物的要因]

- ✓ 油圧の振動や変位による擦れのため、作動油ホースに亀裂が生じたと推定している

[管理的要因]

- ✓ 擦れ防止のため、作動油ホースには緩衝材を巻いていたため、目視確認が困難であった

■ 対策

- ✓ 同様な箇所について調査を行い、接触箇所にも緩衝材を設置する
- ✓ 作動油ホースに巻く緩衝材は目視確認を考慮し、視認性のよい素材へ仕様を変更する

■ 水平展開

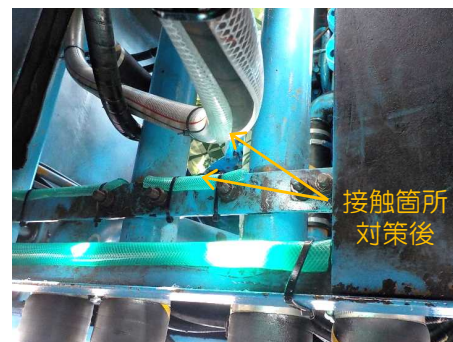
- ✓ 1号機で使用している750tC/C2号機および、3号機で使用している600tC/Cにおいて、4月20日に点検し類似事象のない事を確認した

■ 大型クレーンの保全について

- ✓ 過去の不具合事象を踏まえ、予備品を準備する等、計画的な保全を実施して行く



作動油ホースの損傷状況



接触箇所補修状況